

2024年度・令和6年度

くずは青葉幼稚園

学校評価・自己評価



2025年4月

学校法人山口学園

P	標 題
2	はじめに 幼稚園（学校）評価の目的・学校評価に関する規定
3	学校評価並びに自己評価結果の公開
3	第1節. 本園の教育目標並びに 2024年度教育指針の設定について
3	第2節. 2024年度に重点的に取り組んだ教育内容
3	第3節. 自己評価項目の内容と達成及び取組の状況
4	自己評価 詳細
4	A 教育方針・指導計画
6	B 健康
7	C 人間環境 D 環境
8	E 言葉
9	F 表現
10	G 家庭連携 H安全管理

P	標 題
12	I 学級運営
13	J 業務全般 K 研修と研究
14	幼稚園運営 自己評価
14	1. 幼稚園教育の基本方針と組織 2. 保育内容の確認
15	3. 研修と研究 4. 幼稚園機能の拡大
16	5. 諸法規の遵守
17	6. リスク対応 7. 適正な事務処理
18	研修内容の詳細
18	第4節. 学校評価の総合的な評価結果
18	第5節. 今後取り組むべき課題
18	第6節. 財務状況
19	第7節. 学校関係者の評価

はじめに

本園は、昭和52年の開園以来、平成14年度まで各学期末並びに年度末に教員の反省・評価等を記録し、次年度への実践と反省を活かした教育活動の資料、また教員の指導上のポイントとして活用してきた。それは、実践に基づいた教務内容の充実を図るものと確認していたところである。その反省記録は、園全体の教育方針・並びに指針等に基づいての反省ではあるが、教員一人一人の視点の違いや、教員経験年数等により認識の差異が生じるため、共通理解を図ることが教務会議での課題となっていた。

そこで、平成15年度より「統一した評価基準」を設定し、その基準に基づき「自己評価」を実施し、教育水準の質の向上を図ってきた所である。続いて平成19年6月に学校教育法、同年10月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられた。これを受け平成21年度より「学校評価（並びに自己評価）」の公表（平成20年度版）を実施。以後、学校評価（並びに自己評価）の公表を継続しているところである。内 自己評価内容及び評価基準の改編を3回にわたり改訂した。本年度（2024年度版）においても「学校評価（自己評価）」を公開するものとする。（2025年4月公開）このことにより、私立幼稚園としての「学校評価」のねらい、併せて学校評価における指摘事項や意見を反映し教育目標の達成できるよう努力研鑽に励むところである。

付記 幼稚園（学校）評価の目的と学校評価に関する規定

学校評価については、学校教育法第42条（幼稚園については、第28条により準用）及び学校教育法施行規則第66条～第68条（幼稚園については、第39条により準用）により以下の項目を公開する。

- ・教職員による自己評価を行い、その結果を公表。
- ・学校関係者による評価を行うとともにその結果を公表するよう努める。
- ・自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者（学校法人山口学園理事会）に報告。

学校評価並びに自己評価結果の公開

第1節. 本園の教育目標並びに2024年度教育指針の設定について

本園は、幼児の「心身の成長」を促し、子ども達相互の「ふれあい」を大切にした教育環境を調えることが何よりも大切と考えている。そして、幼児がいろいろな生活体験を積み重ねることができるよう指導と援助を行い、「明るく伸び伸びした幼児の育成」を目指すことが教育目標である。幼稚園集団生活の中で、幼児期の「躰」を充分に行い、情緒の安定を図り、そして将来の社会の担い手となるよう、自主性と協調性をもった豊かな「個性の創造」を育むことを目指し、努力研鑽に努めている。「幼児の心身の成長発達を助長し明るく伸び伸びとした集団生活を行う」「幼児期の幅広い諸経験を通して自主性を培い、そして体得して表現し、さらに集中してやり遂げる」という幼児教育を目指している。この趣旨並びに目的を建学の精神、「たくましく人間性ゆたかな子どもをめざす」の言葉で現している。

2023年度においては、それぞれの学年において、記載の教育目標（学年単位）を設定し、保育に努めた。また、その期ごと（1～3学期終了時）に学年の単位で評価会議、その内容を反省会議を実施し、次学期向けの課題を学年を越えて確認した。

〔教育指針については年度毎に改編あり〕

第2節. 2024年度に重点的に取り組んだ教育内容

建学の精神に基づく「教育方針のもと、2023年度・教育目標、教育指針を確立し、継続して「異年齢児による活動」の充実に努めた。

また、過去に実践したことのない内容を取り入れたり、初めての公園に散策に出かけるなど、過去にとらわれずに現場からの発想を大切にしながら新規のことに取り組んだ。例えば、「八幡スポーツ公園散策」や「3園合同スポーツ交流会」、作品展の作品や日常の取り組みにおいてもである。

また、保護者同士で交流できる場・安心して子ども達が遊べる場の提供として「遊ぼう会」を継続実施した。他にも、新規課外教室「バルシューレ」の開校など、保育環境・保育内容の充実に取り組んだ。

第3節. 自己評価項目の内容と達成及び取り組みの状況

本園は、平成15年度より教員全員の「自己評価」を実施している。〔経緯については「はじめに」2ページ掲載〕2023年度においても、継続して実施した。教員は、従前通り学期毎に評価項目に沿って自己点検・自己評価を行った。これは、教師自らが指導や子どもとの関わり、並びに子ども同士の関わりの援助について省みて、本園教育内容のより充実に目指す趣旨とした。

以下にその「自己評価項目・評価の観点・評価の達成と取組状況」を公開する。

尚、「教員 自己評価・詳細」と「理事長・園長 自己評価・幼稚園運営の自己評価・幼稚園管理に関する自己評価」に分類してこれを公開する。

2021年度より前年度の評価も併記し、達成状況がより明確となるよう変更した。加えて、A・B 2段階評価としていたが、より厳しく評価するために3段階評価に変更した。また、「幼稚園運営の自己評価」においては、昨今の幼稚園を取り巻く状況を鑑み、新たな項目を加えた。

教員自己評価 詳細

分 類	教 員 自己評価項目		園長 自己評価項目	
	A	教育方針・指導計画	G	家庭連携
	B	健 康	H	安全管理
	C	人間関係	I	学級運営
	D	環 境	J	業務全般
	E	言 葉	K	研修研究
	F	表 現		
			※	幼稚園運営の自己評価
			3段階にて自己評価	
			A 十分、達成されている	
			B 達成されている	
			C 十分ではない	

A. 幼稚園教育の基本方針と指導計画・保育内容と記録、組織

NO 1 園の教育方針(教育目標)を理解しているか

		2023年度	2024年度
内 容	教育理念・基本方針が明文化されているか（学校評価、HP他、一般公開）十分、理解・認識している。	A	A
	園の教育方針（教育目標）を保護者や第三者に説明することができる。	A	A
	教師が各自、幼稚園教育要領を手元に置き指導計画作成の際や機会あるごとに目を通して	A	A
	いる。		
	教員として、本園の（教育方針）自らの学年における目標を理解している。	A	A
	幼稚園教育要領のそれぞれの領域における考え方が、指導計画に反映されて実践している	A	A
	建学の精神を理解し、実践している。	A	A
参考物	H30年度に改訂される新幼稚園教育要領について研究・理解に努めている。	A	A
	本園の教育理念・教育目標・保護者への説明プリント・HPによる公開内容。学校評価。		

NO 2 指導計画は、子どもの発達の姿に配慮したものになっているか

		2023年度	2024年度
内 容	幼児期の特徴を理解して、それぞれの時期における発達の流れを承知している。	A	A
	それぞれの子どもの興味・関心の赴くもの、また友だちとの関係について考慮している。	A	A
	担任だけでなく、それぞれの子どもを多面的にとらえる機会や話し合いの場が設けている	A	A
	一日の反省評価を記載し翌日に主任・園長の確認を受け自己反省として把握している	A	A
	個々の子どもの発達の様子、生活の様子について指導要録以外にも記録があり、また子どもの発達状況、生活状況について話し合う機会が定期的又は必要に応じ設けられている。	A	A

NO 3 指導案(週日案)を重要なものと位置付けているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもの発達の姿にすべて配慮した指導計画・案となっている。	A	A
	指導計画、月案・週案などを確認し具体的なねらいを設定した日案を立てている。	A	A
	活動内容は発達の過程、子どもの興味・関心、生活の流れに応じているか確認している。	A	A
	計画は、ほかの教員にも知らせて、相互確認をしている。	A	A
	計画は、子どもの状況や天候などに配慮し、柔軟に実施されている。	A	A
	思い思いの活動と、クラスや全体での活動のバランスを考慮している。	A	A

NO 4 教職員間で子どもの共通理解・発達の確認がなされているか

		2023年度	2024年度
内 容	園長を中心に教職員間で子どもの様子や変化についての情報交換を行い、情報の共有を行っている。	A	A
	特に配慮が必要な子どもについては、個別の話し合い（放課後ミーティング以外）が行われている。	A	A
	情報共有・意思統一は重要であるが、話に夢中になり過ぎ、業務に支障をきたしていないか。	A	A
	園長を中心に教職員間で連携をし、その子の発達援助を学年として、若しくは全員で行っている。	A	A
	特に配慮が必要な子どもについては、家庭での状況を把握すると共に、家庭に園での様子などを伝えている。	A	A
	教育課程にもとづいて、子どもの発達の状況を把握している。	A	A
参考物	子どもの育ちの記録		

NO 5 記録の点検・確認がなされているか

		2023年度	2024年度
内 容	園日誌、幼児個人記録、行事の記録などの記入状況が点検されている。	A	A
	保育の記録や評価・反省は一定の様式・記入の仕方に従い、記載されている。	A	A
	記録は適切に保管・整理されている。	A	A
	保育の振り返りや、次回の計画の際に記録を活用している。	A	A
	記録・企画書・その他帳票類を上手に活用している。	A	A
参考物	園日誌、幼児個人記録、反省会議事録、企画書、行事の記録など		

NO 6 教職員間で諸会議が適切になされているか

		2023年度	2024年度
内 容	連絡会議や職員会議などが、経常的に行われているが（放課後ミーティング）、確実性を以て意識している。	A	A
	直近の行事や予定など園の計画は、職員会議で周知徹底し、資料によって、わかるように整理している。	A	A
	会議録・記録簿等 自らが整理してファイリングしている。（個人）	A	A
	会議の際、意見を積極的に出している。	A	A
	子どもの発達に合わせた園環境の見直しについて、意識している。	A	A
参考物	会議録		

NO 7 子どもの様子を評価・反省し保育に生かしているか

		2023年度	2024年度
内 容	その日の成長の様子や、変化が見られた子どもの様子を記録したり、他教員と話し合っている。	A	A
	その日のねらいが達成できたか評価・反省している。	A	A
	反省を生かし、教材研究を行っている。	A	A
	翌日や週の保育活動や環境構成に生かしている。	A	A
	反省、評価の方法が、どのように保育に生かされたか、確認している。	A	A



NO 8 日常の保育が適切に記録し活用されているか

2023年度 2024年度

内 容	指導案や幼児個人記録には、保育内容や出来事が記録されている。	A	A
	個人の記録は、決まった様式・観点で継続的に行っている。	A	A
	個人の記録は整理し、活用している。	A	A
	指導要録は進級、進級時に引き継ぎがなされている。	A	A
	個人の記録の取り扱い、および保管については十分に注意している。	A	A
参考物	幼児個人記録簿		

NO 9 組織的な仕事が行なわれているか

2023年度 2024年度

内 容	各教職員の役割の分掌と責任が明文化されていてしっかり意識している。	A	A
	職務の実施内容・検討事項などが記録・整理され、活用している。	A	A
	日ごろから、円滑に組織的な仕事が行われるよう改善に努めている。	A	A
	年齢・経験の隔たりなく話し合っている。	A	A
	職員間の仲間意識が「馴れ合い」をうみ、業務中に仕事という意識を薄れさせ、自分中心・自分たち中心の行動をとってしまっていないか。	A	A
	報告・連絡・相談が確実に行われている。	A	A
	自分より経験の少ない教員に対し模範となれている。	A	A
参考物	教職員・園務分掌表		

B. 健康

NO10 子どもがのびのびと行動し、充実感が味わえるよう工夫しているか

2023年度 2024年度

内 容	子どもが安定感を持って行動できるよう教師との信頼関係が築けている。	A	A
	戸外・室内において子どもが自分なりの遊びを見つけて楽しめる配慮や工夫がされている	A	A
	指導案に子どもが伸び伸びと遊びこめる時間が設けられている。	A	A

NO11 子どもが進んで戸外での活動を楽しむ配慮や工夫がされているか

2023年度 2024年度

内 容	子どもの目が自然と戸外に向くように自然物を豊かにしたり、固定遊具の配置に留意して室内から戸外への動線が連続するようにしている。	A	A
	教師がモデルとなって戸外で遊ぶ面白さを伝えるようにしている。	A	A
	子どもが戸外で遊ぶ時間を十分確保している。	A	A
	戸外遊び時、傍観するのではなく共に遊び、教師がモデルとなって戸外で遊ぶ面白さを伝えるようにしている。	A	A

NO12 子どもが運動的な活動に限らず、様々な遊びの中で十分体を動かす事ができるよう援助や働きかけを行っている

2023年度 2024年度

内 容	子どもが今、どんな遊びに興味・関心を持ち活動意欲が高まっているかを理解している	A	A
	子どもの興味・関心を喚起するような環境構成をつくっている。	A	A
	日々の保育がある特定の活動に偏る事の無いように計画している。	A	A

NO13 健康や安全な生活に対して必要な習慣や態度を身につけていけるよう工夫しているか

2023年度 2024年度

内 容	遊びや食事の時間等、子どもたちが園生活のリズムを身につけていける指導を行っている	A	A
	園における生活の仕方を知り、子どもたちが自分で生活や遊びの場を整えていける指導を行っている。	A	A
	危険な場所や遊びに対して配慮や指導を行っている。	A	A

C, 人間関係

N014 子どもが自分で行動することの充実感を味わえるような援助を行っているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもが不安になった時に、いつでも応じられるように常に教師が身近にいる。	A	A
	集団の中でも個々の子どもの気持ちや意図を汲み取る配慮をしている。	A	A
	子どもたちが自分で考え、自分で行動する機会を積極的に設けたり、それに対する援助を行っている。	A	A

N015 自分の保育の上で相手の思いや気持ちに気づいていけるような援助や機会を設けているか

		2023年度	2024年度
内 容	トラブルの場面では、危険のないよう配慮しながら子どもたち同士で解決できるように援助している。	A	A
	友達に自分の思いを伝えようとしている子どもに対して見守り必要な援助をしている。	A	A
	教師や友だち以外の色々な人を通して様々な事を知ったり考える機会を設けている。	A	A
	異年齢児との交流の機会が設けられるよう常時意識している。	A	A

N016 園生活における望ましい習慣や態度を身につけるための指導を行ったり機会を設けているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもたちが社会的ルールや善悪の判断を身につけていくよう配慮している。	A	A
	子ども達にとって模範となるような態度・習慣を行なっている。	A	A
	当番活動を日常生活の中でしっかり行っている。	A	A
	異年齢児との交流を日頃より意識して行っている。	A	A
	友だちと協力したり、一緒に行う活動の機会を設けている。	A	A
	子どもが他者の気持ちに気づき、時には自分の要求を抑えるような援助や指導を行っている。	A	A

N017 年度教育指針「異年齢保育」について園児と十分にかかわり、ねらいの達成に努めたか

		2023年度	2024年度
内 容	本園教育課程を理解、認識し学級の園児以外にも多く関わった。	A	A
	異年齢の存在を認識することから段階的に園児に助言、指導した。	A	A

D. 環境

N018 身近な環境に親しみ、様々な事象に興味や関心が持てるように工夫がされているか。

		2023年度	2024年度
内 容	園内の自然環境を整備し、活用している。	A	A
	子どもが、（動）植物に接する機会をつくっている。	A	A
	季節感のある素材を保育に活用したり季節にあわせた室内環境を工夫している。	A	A
	子どもが光や風を感じられる工夫やそれらを保育に取り入れられている。	B	A

N019 幼稚園全体の環境構成に十分配慮しているか

		2023年度	2024年度
内 容	自分の保育室のみならずトイレ、遊戯室など全体の環境構成に留意している。	A	A
	園門付近や廊下など安全管理を含め子どもの生活の場として意識している。	A	A
	掃除や整理整頓に心がけている。	A	B

NO20

子どもが自発的に活動したり遊べる環境が整備されているか

2023年度 2024年度

内 容	子どもの発達段階に即した玩具や遊具、教具を用意し、子ども達に活用を促している。	A	A
	玩具や遊具、教具が十分に事前に用意されている。	A	A
	子どもが素材や用具などを自由に自分で選んで遊べるように工夫している。	A	A
	子どもが、遊びこむ時間を確保している。	A	A

NO21

子どもの遊びや活動が発展するヒントとなる工夫や配慮がされているか

2023年度 2024年度

内 容	子どもの遊びや活動の広がりや臨機応変に対処するよう心がけている。	A	A
	その日の子どもの活動の様子を振り返りながら翌日若しくは今後の環境を整えている。	A	A

NO22

保育室(クラス担任の保育室)の環境に常々、留意していたか。

2023年度 2024年度

内 容	活動の場としての保育室を常々「清潔」「整理整頓」「危険防止安全対策」に留意している。	A	A
	保育室内の備品や用具を適切に扱ったか。そのうえで破損等した場合、そのままにせず園長に報告し、適切に対処したか。	A	A

NO23

日常保育のための環境構成を適切に行っているか

2023年度 2024年度

内 容	前日までの子どもの様子に留意し、幼児の興味・関心やあそびの連続性に配慮した環境構成を行っている。	A	A
	週や一日を通し、バランスよく多様な活動ができるように、保育の構成を心がけている	A	A
	子どもが自発的にかかわれる環境の構成に努めている。	A	A
	異年齢の子どもが自然に交流できるような環境の構成をしている。	A	A
	園長を中心に職員全体で連携し、環境の構成を行っている。	A	A

E. 言葉

NO24

子どもが自分の気持ちを自分なりに表現したとき、それを受け止めているか

2023年度 2024年度

内 容	子どもの問いかけや話かけを後回しにせず、その場で対応している。	A	A
	自分を表現する力が十分でない子どもに対しては表情やスキンシップなどを通して心情を読み取っている。	A	A
	毎日または定期的に教師と子どもたちとの会話の時間を設けている。	A	A
	子ども達にとって模範となる言葉使いや話し方が出来ている。	A	A
	子どもにわかりやすい言葉でおだやかに話している。	A	A

NO25

子ども達自身が友だち同士で話し合えるように工夫されているか

2023年度 2024年度

内 容	グループ活動や当番活動など子どもたちが自主的に進められるような機会を設けている	A	A
	戸外遊びや自由遊びなどの時間を十分に設けている。	A	A
	子どもたちで解決できそうな場合は、教師が答えを出してしまわないよう見守る姿勢を心がけている。	A	A

NO26

生活や遊びの中から出てきた言葉やアイデアが保育に生かされているか

2023年度 2024年度

内 容	子どもたちの話の中から出てきた疑問や発見を受けとめクラスで話し合ったり、実際に確かめたりしている。	A	A
	子どもたちの発想や思いをもとにして<例：描画・お話づくり・劇遊び・リズム表現等などの活動につなげている。	A	A

NO27 子ども自身が挨拶の意味を知り、進んで行えているか

		2023年度	2024年度
内 容	教師が率先して挨拶をし、親しい雰囲気をつくっている。	A	A
	挨拶の大切さ、意味を子どもたちに伝えている。	A	A

NO28 絵本や紙芝居、素話などを時間や内容を考慮し、工夫して積極的に取り入れているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもたちの興味のあるものに関連性がある絵本や紙芝居を用意している。	A	A
	行事や季節、またそれぞれの学年に応じたものを選んでいる。	A	A
	絵本や紙芝居は事前に内容を把握し、子どもに伝わるように読み聞かせている。	A	A
	落ちついた、ゆったりした時間の中で、1日に一度は（若しくは数日に一度）必ず絵本や紙芝居、素話をする機会を設けている。	A	A

F. 表現

NO29 子どもの表現しようとする意欲を受け止め、また子どもが様々な表現を楽しむ事ができるように配慮しているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもが生活の中で感じた美しいものや心を動かす出来事を教師が受け止め共感している。	A	A
	子どもが自分なりの思いで描いたり、イメージしたものをつくろうとしている気持ちを受け止め共感している。	A	A
	子どもたちの様々なイメージの表現に必要な素材や用具を工夫し、準備している。	A	A

NO30 子どもが生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、楽しんだりできるように工夫されているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもの興味や関心を引き出すような音楽や楽器を保育に取り入れている。	A	A
	保育室など子どもが見られる所に絵画等を展示している。	A	A
	子どもに刺激となるさまざまな素材や保育教材が準備されている。	A	A

NO31 子どもが自由に音や動きで表現する機会が設けられているか

		2023年度	2024年度
内 容	子どもが様々な楽器に触れ、楽しむ保育をしている。	A	A
	教師が先回りして指示したり、性急に技能的なことを求めたりせず、子どもに自由感を持って活動させている。	A	A
	教師も子どもと一緒に表現する事が楽しいという姿勢が持てている。	A	A
	身体を使った様々な表現あそびが取り入れられている。	A	A
	子どもが日常的に歌をうたう機会が設けられている。	A	A

NO32 子どもの作品が工夫して飾られる等、丁寧に扱われているか

		2023年度	2024年度
内 容	一つ一つの作品について、教師がその面白さや大切さを理解するように努めている。	A	A
	子どもの作品に対する思いや、その作品に関する話を受け止め記録している。	A	A

G. 家庭連携

N033 子どもの様子や育ち・保育内容等を保護者にわかりやすく伝えるよう工夫しているか

		2023年度	2024年度
内 容	日常の様子などは、必要に応じて電話連絡している。	A	A
	けがや事故が起きた時は状況や原因などを細かく説明している。	A	A
	保育参観や懇談会において保育内容をより理解してもらえようようにしている。	A	A

N034 保護者の質問や意見を聞くなど情報交換をすることによって、幼稚園と家庭が子どもの望ましい発達を促すための生活について考えていけるような連携がとれているか。

		2023年度	2024年度
内 容	保護者の相談や質問には、丁寧に対応している。	A	A
	保護者と個別面談や電話連絡などを通じ定期的に子ども一人ひとりの共通理解に努めている。	A	A
	園の様子や子どもの発達理解のための情報提供に努めている。	A	A
	個別の課題や目標に応じ、保護者と連携して達成に努めている。	A	A
	子どもの成長や変化を保護者に伝え、喜びを共有するよう努めている。	A	A
	個人懇談で家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えるなど情報交換をしている。	A	A
	子どものことで「家庭（保護者）への連絡」を怠ったことはない。	A	A
	知り得た家庭事情や子どもに関する情報を他人に漏らさないようにしている。	A	A
	保護者の家庭状況や変化を把握している。	A	A
	特に配慮が必要な家庭には、状況に応じた対応がなされている。	A	A
	電話連絡などで、こまめな相互連絡を心がけている。	A	A
	保護者が理解しやすい、日ごろからの関係・環境を作っている。	A	A
	保護者理解と個別対応がなされている。	A	A
	教職員同士での保護者理解のための情報交換・共有をしている。	A	A

N035 苦情解決のための取り組みを行っているか

		2023年度	2024年度
内 容	苦情や質問の苦情解決のための仕組みを工夫している。	A	A
	教職員が聞いた保護者の苦情や質問などは、主任や園長に確実に伝えている。	A	A
	苦情の内容と、その解決方法はすべての保護者に情報として提供されている。	A	A
	苦情については、職員が保育を改善するための前向きな意見としてとらえている。	A	A

H. 安全管理

N036 室内や園庭の安全に対して、定期的に点検・改善を行っているか。

		2023年度	2024年度
内 容	遊具・設備備品・保育室内・園庭等戸外・建物共有空間などに関する安全点検チェックリストが作成されていて運用している。	A	A
	安全管理担当者（火元責任、倉庫点検など）を決めて職務を遂行している。	A	A
	事故や怪我の報告書などがあり、記載し、それをもとに再発防止に努めている。	A	A

NO37 緊急事態に対して敏速に対応できるようにしているか

		2023年度	2024年度
内 容	緊急時行動に関するマニュアルを周知徹底、理解把握している。	A	A
	通報先（警察など外部）にすぐに連絡ができるようにしている。	A	A
	教師間への連絡連携が取れる体制になっている。	A	A
	防御スプレー、さすまた等、すぐに使えるようにしている。	A	A
	消火器の位置を把握し、使い方を理解している。	A	A

NO38 薬品の取り扱いに十分配慮しているか

		2023年度	2024年度
内 容	薬を飲ませる場合は、保護者の依頼を受け確実に与薬している。	A	A
	救急医薬品の置き場所、並びにその内容は確実に把握している。	A	A
	清掃用などの薬品は、確実に保管するように配慮している。	A	A
	子どものアレルギー疾患などを把握していて、他の教師にも周知されている。	A	A

NO39 園庭は常に整備されていて、室内は清潔で整理整頓が行き届いているか

		2023年度	2024年度
内 容	衛生管理について、しっかり意識して実行している。	A	A
	遊具や玩具が使いやすいように工夫している。	A	A
	常に園児の「安全」に気をくばっていたか。通園バスの進入の際や遊具の活用の際等。	A	A

NO40 安全・衛生点検に心がけているか

		2023年度	2024年度
内 容	自らの健康管理に留意し、健康な状態で過ごせるよう留意している。	A	A
	日ごろから安全・衛生意識の確認を行っている。	A	A
	定期的に、安全・衛生点検を実施している。	A	A
	点検リストが準備されていて確実に対処している。	A	A
	環境構成の際に、安全・衛生点検の視点を組み込んでいる。	A	A
	行政などからの情報を把握し（光化学スモック情報、PM2.5情報等）、教職員で情報を共有し、安全・衛生点検に役立てている。	A	A

NO41 園児の受け取り、引き渡しに関する安全の確認がなされているか

		2023年度	2024年度
内 容	園児の受け取り、引き渡しの手順が定められている通り対応している。	A	A
	教職員間で手順や方法について、定期的に確認し、保護者にも周知している。	A	A
	父母でない者への引き渡しのルールがあり、周知されている。	A	A
	子どものその日の健康状況などを見て、確認している。	A	A
	子どもの受け取り、引き渡し場所（バス通園・直接園）の安全を確実に確認している	A	A

NO42 施設・設備、遊具に対する安全対策ができているか

		2023年度	2024年度
内 容	職員ひとりひとりに、危険・安全について意識を高めている。	A	A
	点検リスト、点検簿があり、定期的に記録している。	B	A
	複数の教員により点検を確実に実施している。	A	A
	不備が見つかった場合、緊急度を考慮して対応している。	A	A
参考物	点検記録簿・マニュアル		

N043 不審者への対応がなされているか

		2023年度	2024年度
内 容	日常から子どもへの、啓蒙活動をしている。	A	A
	子ども・職員に、防犯教育を行っている。	A	A
	常日頃、防犯カメラを意識したり入門者が入門許可証を所持しているか等確認する等、安全対策を自分のこととして理解し行動している。	A	A
参考物	不審者対応マニュアル 監視カメラ 不審者対応用防具類 緊急連絡の設備方法		

N044 事故予防および事故発生時の対応手段が整っているか

		2023年度	2024年度
内 容	事故の危険がある場所をチェックし、改善に努めている。	A	A
	事故発生時の対応マニュアルが作成されていて、保護者に周知されている。	A	A
	教職員間で事故発生時の対応の仕方や分担の話し合いがなされ、連携のとれる体制が作られている。	A	A
	保護者へ、事故の経緯・対応や改善策が説明されている。	A	A
	事故対応後は、速やかに問題点を明らかにし、改善策を講じている。	A	A
参考物	事故記録簿・報告書		

N045 弁当・給食における安全衛生対策がなされているか

		2023年度	2024年度
内 容	弁当・給食の保管場所に留意し、適切に管理している。	A	A
	子どもの食事に注意を払い、喫食状況を把握している。	A	A
	保護者にバランスのとれたメニューや、食育についての情報提供を行っている。	A	A
	子どものアレルギー状況を把握し、適切に対応している。	B	A

I. 学級運営

N046 保育室は整理・整頓が行き届き、安全にも配慮した環境にしているか

		2023年度	2024年度
内 容	掃き掃除や拭き掃除が行き届いていて、いつも清潔な環境で子どもを迎えている。	A	A
	子どもの動線なども考え、安全に配慮した環境になっている。	A	A

N047 個々の子どもの心身の状況を把握したり、配慮しながら保育をしているか

		2023年度	2024年度
内 容	登園後や降園前に視診をして、子どもの心身の状況を把握している。	A	A
	子どもの内面を見ることを心がけながら、保育をしている。	A	A
	一人ひとりの子どもが、落ち着いて遊んだり生活できる場になるように工夫している	A	A

N048 子どもとの信頼関係の確保に努めているか

		2023年度	2024年度
内 容	クラスの子どもには、ひとりひとりに対して毎日言葉がけをしている。	A	A
	園全体の子どもの名前を覚えている。	A	A
	スキンシップやあそびを通して、子どもとの関係を深めている。	A	A
	子どもへの言葉遣いや対応が適切であるか、教職員間で確認している。	A	A
	子どもの自主性を尊重し、好ましい人間関係を作っている。	A	A

N049 日常保育のための環境構成を適切に行っているか

		2023年度	2024年度
内 容	前日までの子どもの様子に留意し、幼児の興味・関心やあそびの連続性に配慮した環境構成を行っている。	A	A
	週や一日を通し、バランスよく多様な活動ができるように、保育の構成を心がけている。	A	A
	子どもが自発的にかかわれる環境の構成に努めている。	A	A
	異年齢の子どもが自然に交流できるような環境の構成をしている。	A	A
	職員全体で連携し、環境の構成を行っている。	A	A

J. 業務全般

N050 社会人としての最低限の職場のマナー、礼儀は自分でできていると思うか

		2023年度	2024年度
内 容	挨拶、笑顔、電話対応、言葉づかい。態度、マナー、行儀。	A	A
	職員間での約束事、業務として教員会議で決定されたことを貴女は遵守しているか。	A	A
	期限や取り決めの時間を遵守しているか。	A	B
	報告の義務は怠ったことはないか。	A	A
	園務分掌・行事の担当者それぞれと十分に協議を行い「企画」したか。先輩職員の説明や同輩、後輩の職員の意見など活発な取り組みの姿勢があったか。	A	A
	会議での発言、発表、説明などは十分に行えたか。	A	A
	広い視野にたって「園児」「業務」を観ているか。	A	A

N051 日常業務について

		2023年度	2024年度
内 容	園からの配布物(手紙等)は、決められた期日に配布している。また、その内容を熟知し理解している。	A	A
	幼稚園の単なる一担任ではなく、幼稚園を代表する一人として意識し、業務についている。	A	A
	メリハリを持って業務を行っている。	A	A
	お歩きの降園時に音楽をかけたり門を開ける等、複数教諭で業務にあたる際、先輩後輩関係なく他教諭任せにせず自ら率先して行動している。	A	A
	経費節減のため、無駄な教材使用やコピー節減に意識して努めている。	B	B
	園務分掌、行事担当、その他の役割分担をしつかり意識し、消化し業務を遂行している。	A	A

K. 研修と研究

N052 園内研修等で自己の課題や園全体の課題について定期的に見直しや評価をしあい、保育の質の向上に努めているか

		2023年度	2024年度
内 容	主任他、他教員とコミュニケーションをよくとり、他の教師の助言や保育技術を参考にしている。	A	A
	研修で学んだことが教職員に報告され、保育に生かされている。	A	A
	保育について教職員間で話し合ったり、指導や協力体制が確立されている。	A	A
	自己の課題や園全体の課題について定期的に見直しや評価を行い、保育の質の向上に努めている。	A	A

N053 専門書や雑誌を読む等、保育技術を高めるための努力をし、習得した事を実際の保育に生かしているか

		2023年度	2024年度
内 容	定期的に購読している教育書や保育雑誌がある。	B	B
	公開保育に積極的に参加したり他の教師の保育の様子を見学するよう努めている。	B	B
	夏期休暇等を利用して研修・教材研究を行っている。	B	A

N054 教材の研究、題材の研究をその活動ごとにまたは、定期的に行ったか。

		2023年度	2024年度
内 容	定期的に「教材」または「活動のための題材や素材など」についてその活用内容について研究した。	A	A
	「教材研究」を日頃より留意し、保育に生かしている。	A	A

N055 食育について、どのように取り組んでいるか

		2023年度	2024年度
内 容	園として食育に取り組み、教員して実践している。	A	A
	教員間で食育について話し合い、共通理解を図っている。	A	A
	折にふれ、保護者に食育の方針について説明をしている。	A	A

幼稚園運営の自己評価

幼稚園教育の基本方針と組織

1-1 園長・主任教諭は、リーダーとしての責任を果たしているか（前年度評価 A）	
A	園長・主任は、園運営に関するビジョンの提示やさまざまな情報収集と提供を行っている。
	園長・主任は、園運営の中心となり、教職員と協力して問題解決に努めている。
	積極的に研修会に参加し、自己研鑽を図り、相談力・助言力・説明力・調整力・リーダーシップなどの向上に努めている。
	折にふれ、園長の保育観や考え方を教職員や保護者に伝えている。
	教職員と一緒に問題解決について、適切な判断が行われているか点検・評価を行っている。
備考	園長のビジョンを明文化し伝える物
1-2 地域交流と貢献を心がけているか（前年度評価 A）	
A	教職員は地域交流や貢献の大切さを理解している。
	園の行事などに積極的に地域の人の参加を呼びかけている。
	日常において地域の人との信頼関係を積み重ねている。
	積極的に地域の文化・自然を活用して保育を実践している。
1-3 適切な「働き方改革」が実施されているか（前年度評価 B）	
A	「働き方改革」の主旨を理解している。
	言葉がけだけでなく、手段や方法を提示し「働き方改革」を推進している。
	他園や他業種から学んだり情報収集を行い、活かしている。

保育内容の確認〔幼稚園全体〕

2-1 環境問題への配慮がなされているか（前年度評価 A）	
B	節水、節電に努めている。
	保育の中で環境教育を行っている。
	自然体験を通して、環境の大切さを知らせたり、深める活動を取り入れている。
	園での取り組みを保護者に知らせ、理解してもらっている。
	地域との連携を意識して行っている。

保育内容の確認〔教員〕

2-2 行事の配置は適正か（前年度評価 A）	
A	年間行事計画を作成している。
	その年の子どもの実態に合わせ、行事を編成している。
	個々の行事について教職員と十分に話し合い、必要に応じ見直しを行っている。
	日本の文化や季節感のある行事を取り入れ、子どもに伝えている。
	保護者や地域の人たちとの関係作りに配慮している。
備考	年間行事計画

研修と研究

3-1 人材の計画的な確保、育成をしているか（前年度評価 A）	
内 容 A	保育に必要な教職員数を計画的に確保している。
	園外の研修の参加を促進し、また園内の研修の実施に努めている。
	社会人としての良識とマナーを含めた研修を実施している。
	研修担当をしっかりと決め、責任をもって新人の育成にあたっている。
	非常勤職員にも、園の方針について研修を行っている。

3-2 園外研修が適切に行われているか（前年度評価 B）	
内 容 A	園外研修に出やすい雰囲気を作り、積極的な参加を促している。
	参加者は、目的意識をもって事前の準備をし、参加するようにしている。
	研修で学んだことが教職員に報告され、保育に生かされている。
	年間を通して、計画的に園外研修を行っている。
	一年間を反省し、次年度の計画を立てている。

3-3 特別支援に対応しているか（前年度評価 A）	
内 容 A	支援を必要とする子どもの受け入れの必要性を共通理解している。
	教職員は、日ごろから支援を必要とする子どもに関する一般的理解を深めるよう研修会に参加している。
	個々の子どもの理解が進むよう、保護者、教職員間で必要な情報提供を行い、連携・協力を図っている。
	医療機関や関係機関と連携をとり、必要な情報を全教職員が共有している。
	支援が必要な子どもに沿った環境整備がなされている。

3-4 いじめ・差別・性差別などの対応が適切に行われているか（前年度評価 A）	
内 容 A	いじめ・差別・性差別などについて教職員の共通理解、情報交換を行っている。
	いじめ・差別・性差別などの課題について、保育の中での取り扱いに留意している。
	子どもや保護者にもわかりやすい説明を行っている。
	研修会に参加し、専門的な知識を得るように努力している。
	保育のなかでも、子どもたちにわかりやすく説明をして理解をしてもらっている。

3-5 幼小連携に努めているか（前年度評価 A）	
内 容 A	幼小の連携の必要性を理解している。
	発達や学びの連続性を理解し、スムーズな接続に向けて教職員の研修を図っている。
	小学校との情報交換や連携に努めている。
	子どもたちに進学の期待や心構えなどを話す機会を設けている。
	保護者に対して、進学の心構えや、先輩の体験談などを伝える機会を設けている。

幼稚園機能の拡大

4-1 地域の子育て支援に対応しているか（前年度評価 B）	
内 容 B	幼児期の地域の教育センターとしての役割や、子育て支援の意義を理解し実施している。
	子育て支援について、教職員の協力体制や情報交換を心がけている。
	子育て情報の発信や、地域の施設・機関と連携した子育て支援を心がけている。
	未就園児への対応や、園庭開放を行っている。
	安心して悩みを相談できる、子育て相談の場を提供している。
備考	告知情報媒体など

4-2 幼児教育無償化に対応しているか（前年度評価 A）	
内 容 A	幼児教育無償化実施前より、保護者説明をしっかりと行っている。
	事務手続き等、遅滞なく実施できている。
	職員間で情報共有を行い、園全体として幼児教育無償化に取り組んでいる。

4-3	未就園児への対応を行っているか（前年度評価 A）
内 容	計画、案内が地域に知らされている。
A	意義を理解し、実施している。
	目的や使命を教職員に伝えている。
	子どもの状況に応じた対応を心がけ、保護者ニーズを把握している。
	子ども同士に限らず、保護者同士の交流にも心がけている。
備考	告知情報媒体など

4-4	預かり保育を適正に実施しているか（前年度評価 A）
内 容	子どもの一日の生活を考慮し、施設や設備などの環境を整えている。
A	子どもが長時間過ごすことができるよう、生活リズムに配慮し、保育内容や方法を工夫している。
	担当者とはほかの教職員の協力体制や、情報交換を心がけている。
	預かり保育を利用する保護者との緊密な連携を心がけている。
	正規の教育時間内の活動に、支障のない範囲で行っている。
備考	預かり保育日誌 園案内

4-5	実習生の研修の場の提供を適切に行っているか（前年度評価 A）
内 容	実習生の受け入れ体制を整備している。
A	実習生受け入れの意義を、教職員間で共通理解している。
	実習生には、事前研修、オリエンテーションなどを行っている。
	幼児教育の大切さや、園の方針・園児とのかかわり方の基本などを知らせている。
	養成校と連携し、情報交換を心がけている。
備考	研修リスト 実習生の保育日誌 実習生心得

4-6	情報公開を適正に行っているか（前年度評価 A）
内 容	私学法や設置基準で定められた園の情報を、わかりやすく情報公開するように努めている。
A	ホームページなどの電子媒体や掲示板、手紙などを利用し、広く園の方針・活動を地域に知らせている。
	園便りの定期的な発行など、保護者を対象として情報の提供を行っている。
	保護者や地域の人などに、園の活動や地域における幼児教育のセンターとしての活動についての情報公開をしている。
	自己点検・自己評価の結果についての情報公開を行っている。

諸法規の遵守

5-1	健康診断を実施しているか（前年度評価 A）
内 容	子どもの健康診断を定期的実施している。
A	子どもの健康診断の結果は、保護者に知らせている。
	診断の上、気になる子がいたら、園医・教職員・家庭と連携を図っている。
	健康診断を子どもの健康な発達のために生かしている。
	教職員の健康診断を毎年実施している。子どもの健康の記録・教職員の健康診断の記録

5-2	労働基準法に対応しているか（前年度評価 A）
内 容	法改正に応じて、就業規則および関連協定が整備され、遵守されている。
A	新しい規則に対応した就業規則および関連協定の届出がなされている。
	労働協定・就業規則・給与規定、旅費規程、履歴書、雇用契約書、成績証明書、免許証の写しなどが整理保管されている。
	教職員が必要な書類を閲覧でき、また内容について周知する機会を設けている。
	常に職員の労働環境について配慮している。
備考	就業規則 諸規定 労働基準局への届出 教職員履歴書つづり 勤務時間管理

5-3	道路交通法に対応しているか（前年度評価 A）
内 容	園車両や教職員車両の任意保険加入状況および更新時の内容を確認している。
A	定期的に安全教育や、話し合いを実施している。
	定期的に車両の整備状況を確認している。
	事故の際の対応手順は、定められたマニュアルがある。
	園周辺の交通安全には、特に配慮している。
備考	バス運行マニュアル・運行記録 地図 安全運行の保護者への周知 保険契約

5-4 虐待防止などの対策、対応がなされているか（前年度評価 A）	
内 容 A	虐待の発見や防止のための研修や話し合いが行われ、教職員の共通理解がなされている。
	発見や疑念をもった場合の対応方法のマニュアルがある。
	関連施設との連携を図っている。
	保護者にも虐待防止についての説明がなされている。
	普段から子どもの様子や変化に注意を払っている。
備考	視診・対応マニュアル 虐待防止に関する話し合い記録

リスク対応

6-1 任意保険の確認を行っているか（前年度評価 A）	
内 容 A	賠償、傷害、火災、自動車保険に加入している。
	更新時には、賠償内容の説明を受け、補償額の確認をしている。
	教職員、保護者に保険内容を周知している。
	園児ひとりひとりが傷害保険に加入している。
	常に園の抱えているリスクをイメージして、保険を考えている。

6-2 社会的事件からの学習、対応がなされているか（前年度評価 A）	
内 容 A	子どもに関連する事件・事故の情報収集を全教職員が行っている。
	収集した情報にもとづき、教職員間で問題を把握、共有し、対応策を講じている。
	関連情報や対応策を保護者に説明している。
	地域や保護者との連携を図っている。
	子どもたちに安全教育を施している。

6-3 コンピューター・インターネットの安全管理がなされているか（前年度評価 A）	
内 容 A	コンピューターの故障、ウィルス対応のためのバックアップ対策がしてある。
	コンピューターの盗難、廃棄の際の情報管理がなされている。
	ホームページの管理は定期的に決められた人がチェックしている。
	コンピューター本体、重要なデータなどは、厳重に管理している。
	個人情報ファイルには、必ずパスワードを設定している。
備考	バックアップ ウィルス対応ソフト 更新 情報流失

適正な事務処理

7-1 園の重要書類の管理がなされているか（前年度評価 A）	
内 容 A	責任者を決め、重要書類の保管、管理が正しく行われている。
	災害などでの、緊急持ち出しが可能なように整理されている。
	書類は定期的に確認され、決められた手段で処分されている。
	重要書類は、施錠できる場所に保管されている。
	持ち出しが必要な場合、持ち出しのルールや手順が決められている。

7-2 必要な書類や、公文書などの処理が適正に行われているか（前年度評価 A）	
内 容 A	公文書の受信・発信簿が整理されている。
	公文書受付時の処理担当者が決められている。
	必要な公文書は教職員に周知されている。
	必要な書類が整備され、正しく更新されている。
	諸規定・保育計画やマニュアルなどは定められた場所に保管されている。
備考	公文書 園則・寄付行為・就業規則・給与規定・旅費規程・経理規定・自衛消防計画・車両運行規定

7-3 園の情報公開が適正に行われているか（前年度評価 A）	
内 容 A	保護者などから情報公開請求があった場合、法に定められた内容に従い公開している。
	保護者などから情報公開請求があった場合の、手続きや対応が決められている。
	公開された情報が、わかりやすい情報がどうか保護者に確認している。
	情報公開すべき書類などについては、常に整理されている。
	責任者を決め、保管、管理が正しく行われている。
備考	情報公開のルール、財産目録、貸借対照表、収支計算書および事業報告書など（私学法）

研修内容詳細目 関連項目／K. 研修と研究 135-

下記の 園内研修を実施。また園外研修に参加

(1) 園内研修・研究保育

	研修日時	研 修 内 容	研 修 者
1	2024/4/5	体育指導研修	全 教 諭

(2) 園外研修・研究保育 2025年2月28日現在

	研 修 者	研 修 内 容	研修時間数
1	甲斐 美由記	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	24. 5時間
2	中野 志保	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
3	安井 沙也佳	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	30時間
4	長倉 絵梨華	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
5	中野谷 早智	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	21時間
6	渡邊 奈緒	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
7	吉梅 萌香	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
8	富上 歩楓	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間

第4節. 学校評価の総合的な評価結果

「教員における自己評価と詳細、並びに理事長・園長における自己評価」の総合的評価は「AまたはBまたはC」とし、管理者を含め、教員全員が共通認識した。尚、「AまたはBまたはC」の評価は、教職員の経験年数によって評価項目の意識の差は起こりえるが教員経験を積み重ねることによりその差異は解消されるものとみなし、総合的評価を妥当なものと認識するものである。

年度当初（2024年度4月）に「建学の精神」、加えて園長より「2024年度・教育指針」を基に、担任教諭が「学級経営案」、また、学年教諭間において、それぞれ「学年目標」を設定した。これにより、取りくむべき教育目標・運営目標について、全教職員が共通理解し指標とした。そして、教員それぞれが、学期末はもとより、日常的に自己評価を行い、取り組み状況を意識・確認したことにより、本園の教育内容が経常的に推進されているものと認識している。今後も継続して自己評価を行うことが重要であることを教員一同が共通理解し、努力研鑽に励む姿勢を位置づけることができた。

第5節. 今後取り組むべき課題

自己評価を行った各教員の総合判定として、記載の通り「学校評価・自己評価」の総合的なものとして公開している。自己評価については、教員個人としては、いわゆる達成度の低いと評価を今後は各項目の達成度をより高めるよう、具体的な対応やその具現化に向けて努力することを課題とした。

今後においてはより良い幼児教育を目指し、充実に向けての取り組みが必然と認識するところであり、外部研修の参加や公開保育の見学など、外部からの学びや情報収集が求められると認識している。

続いて、急速な少子化が進行する中で日常での異年齢での関わり等が減少している現在、幼稚園教育の在り方、具体的には保育・行事の内容や地域との交流などについて、より充実したそれを目指すことを課題と位置付けた。

第6節. 財務状況

2024年度の財務状況については、監査法人・公認会計士より適正に運営されていると認められた。

第7節. 学校関係者の評価 9-1

学校関係者における意見・評価については、2025年3月にこれを依頼し、その意見・評価を求めた。下記にその意見内容を記し、これを公開する。

尚、学校関係者は、本園父母会役員並びに地域関係者あわせて15名を以て成し、意見・評価を依頼し、13名から意見・評価を頂戴した。

また、昨年同様に本園理事会に報告する前段階として、本園理事1名（16名に含む）にこれを依頼した。学校関係者の名列はこれを非公開とする。

ご協力いただいた学校関係者諸氏に感謝申し上げます。

A委員【No.1】

学校評価・自己評価を拝読いたしました。

いつも先生に子供の普段の様子を伝えていただくなどきめ細やかな気配りをしていただきありがとうございます。

また、子供がバスの運転手さんに懐いていたこともあり、先生ほか職員の皆様方にも見守っていただいているのだなと思いました。

アプリでバスの位置情報を知れたり欠席届やメッセージを送ることができるなど、便利なことが増えて保護者の負担も減っているなど実感しています。

子供たちとともに成長していくあおば幼稚園に、今後とも期待しています。

B委員【No.2】

学校評価・自己評価を拝読学校評価・自己評価を拝見いたしました。

子どもが三年間お世話になって、こちらの評価以上に、先生方が子ども達のことを一番に考え、色々と行動してくれているのだと参観などを通して実感しました。

日々、大勢の子ども達の保育をしながら、このようなたくさんの項目から多くのAをとられるということは本当に大変なことだと思います。

新しいことにも取り組みながら、ときには柔軟に対応していただき、本当に感謝しております。

子ども達をいつも第一に考え動いていただき、ありがとうございます。

これからも益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

C委員【No.3】

2024年度も、お世話になりました。

幼稚園からは、息子のもう少し頑張ろうねという点だけではなく、頑張った点もご連絡いただきました。息子は頑張った点をほめていただいて、喜んでおります。家では食事の好き嫌いがあり、野菜は食べませんが、幼稚園では野菜を食べる日もあるとお聞きし、頑張っている姿が伝わってきます。給食参観でも、いつもより好き嫌いせずに食べており、先生方のお声かけの賜物だと感じます。

父母会活動も、お世話になりました。幼稚園のご協力により、活動し易く、充実した一年となりました。ただ、昨今は電子化、簡素化の時代です。父母会活動も、電子化をもう少し導入すれば、もっと活動し易くなり、役員希望者のハードルも低くなるのではと思います。例えば、会議を出席形式を要件とするのではなくリモートで行うなど。

時代に合わせて、ますます充実した活動ができますことを、楽しみにしております。

第7節. 学校関係者の評価 9-2

D委員【No.4】

幼稚園に子供を預ける親にとって、何より心配な『安全・衛生管理』において、前年度よりさらに改善され、全てA評価になっている点に、職員のみなさまの意識の高さと徹底したチェック機能を確認することができました。

E委員【No.5】

自己評価、学校評価を拝見しました。細かな項目に基づいて先生方が子どもたちをしっかりと指導してくださっていることが分りました。

保育では異年齢活動を通し、人との関わり、相手を思いやる気持ちの大切さを学ぶことができたと思います。そして、運動会や生活発表会等、行事のたびに本当に大きな成長を感じます。幼稚園で作った作品を自宅で飾ったりして、子どもは日々「幼稚園に行くのが楽しみ！」と笑顔で言っていました。それは先生方が温かく見守ってくださり、様々な努力や工夫をされているからだと改めて感じました。本当に心から感謝しております。今年度もよろしくお願い致します。

F委員【No.6】

今年度は、八幡市スポーツ公園へのお別れ遠足や散策など新たな取り組みがあった1年だと感じました。今年度で卒園ですが、年少の時には年長さんの姿を見て、あんなことが出来るようになるのかなぁ？と思っていましたが、みんなと協力していろんなことに取り組むことができました。いつも園長先生や先生方が園児のための保育をしてくださっていると感じています。ありがとうございました。

G委員【No.7】

自己評価の部分では概ね2023年度、2024年度共にA評価がほとんどであるが、たまに見受けられるA→B、B→Aになっている部分では、具体的にどのように改善した、または改善が必要なのかが気になった。

2024年度に重点的に取り組んだ教育内容に新課外教室の開校挙げておられ、私自身幼稚園選びの際、課外教室にどんなものがあるのかも大きなポイントとしていたため、バルシューレのような目新しい教室は新鮮で興味が湧いた。他にもチアや、ダンスと言った教室は青葉幼稚園にはないので開講すれば人気が出るのではと感じている。

園長先生の園や子どもたちに対する思いは日頃のお言葉や取り組みから常々伝わっており、子どもたちのためによりよい園作りに励んでいらっしゃる姿にはとても有り難く思う。特に来年度の“父母会働き方改革”についてはどう変わっていくのかがとても楽しみなところだ。

H委員【No.8】

兄弟がいなくても子ども同士の間合いから年下の子に声掛けや協力など、集団生活を送ることが他人との人間関係を築くことが増え、子ども達にとってよい経験になっていると思います。

「遊ぼう会」では園内で安心して遊ぶことができました。保護者同士の交流もできてよい機会となりました。

今後も新しいことを取り入れ、園の活性化へ繋げてほしいと思います。

第7節. 学校関係者の評価 9-3

I 委員 [No.9]

自己評価を全て拝読しました。園の教育方針・目標の理解・指導案等、子どもの発達のに理解したものとなっている。戸外遊び時の活動を楽しむ配慮、異年齢児との交流の大切さ、子どもの動植物に接する機会を作ることの大切さ、挨拶の大切さ、生活発表会や作品展においても自由感をもって活動する、教師が面白さや大切さを理解するなど。参観された保護者の方々の感想を聞き感動した。

園内外、研修、研究保育に取り組まれる姿は熱意あるのみ。理事長、園長、諸先生方に感謝です。

J 委員 [No.10]

3年間娘が大変お世話になりました。この3年間を通して親子ともに充実した幸せな時間を過ごすことができました。それも理事長先生、園長先生をはじめとした先生方、事務員の先生、バスの運転手さん、みなさんが子ども達のことを第一に考え動いてくださったからだと思いました。

たくさんの事細やかな項目に基づき、より安全により良い教育を子ども達に愛情深く接して下さっているの、親としても安心して園に通わすことができました。

これからも青葉幼稚園に通うお子様たち、そして先生方のみなさんの笑顔の絶えない園で居続けてほしいです。

K 委員 [No.11]

学校評価・自己評価拝読しました。おおむねA評価ということで、職員の方々の評価が高いことに安心しました。

八幡スポーツ公園や交流会、バルシューレなど新しいことに取り組もうとする姿勢が見られること、保護者としてはとても嬉しく思います。以前通園していた時にはレーザーキッズがなかったので、とても便利だなと実感しています。お手紙の確認もできるので必要最低限の書類印刷のみにして、よりペーパーレスにしてもいいと思います。

日頃の保育については、子どもの様子や些細な出来事などもお伝えしていただき有難く思っています。行事ごとに工作をしたり、由来のお話もしてくれるので子どもの理解も深まり、家で楽しそうに話をする姿がとてもかわいいです。

L 委員 [No.12]

いつも子ども達のためにありがとうございます。自己評価一覧を見せていただき、自身の子どもの登園時のことを思い出し、先生方は大変積極的に、そして親身に子どもや保護者に対して接して下さっていると感じています。先生方同士での情報共有等もしっかりされている印象があり、園の先生方全体で見守って下さっているような安心感があります。

自己評価の項目がAが占める中、No.53だけがBとなっていることから、先生方は学ぶ必要性を感じているけれど、日常の業務に追われなかなかそのような時間を確保することが難しいのかなという印象を受けました。園外研修の欄を見ると各々オンライン研修されていることがうかがえるので、別の研修・研究ができる機会が増え、吸収されたことを子ども達にどんどん実践してもらえたら嬉しいなと思いました。同様に何事も「例年通り」ではなく、行事内容などの見直し、新しいことへの取り組みが今後活発に行われることを期待しています。

M委員 [No.13]

難しいことはよくわかりません。でも私には卒園した子供2人と在園中の子供が1人いますが全員幼稚園と先生とお友達が大好きで毎日笑顔で通っていました。子供が笑顔で機嫌良く通うことができる、そういう場所にしてくださっていることがありがたいなと思います。



2024年度／令和6年度

くずは青葉幼稚園 学校評価・自己評価について以上の通り、公開します。

学校法人山口学園
くずは青葉幼稚園
園長 山口哲也

2024年度 学校法人山口学園くずは青葉幼稚園・学校評価

〒573-1102 枚方市北楠葉町38番1号

電話 072-857-8221 FAX 072-856-5944 <http://www.k-aoba.ed.jp/> Mail address info@k-aoba.ed.jp

2025年4月1日発行 本書は22ページを以て成し、「学校関係者の評価」以外の文責は園長・山口哲也であることを記す。